



挨拶

第116代幹事長 兼
Drama Section Producer
萬治 慧介

年内も残り少なくなつて参りました。稲門英語会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。第116代早稲田大学英語会幹事

長の高治慧介でございます。今年で118年目を迎えます早稲田大学英語会は、総勢200人以上の大会所帯となりました。日々英語会の仲間達で語りあい、笑いあい、時には泣きあいながらも楽しく青春の時を過ごしております。さて今回は、私がこの場をお借りいたしました。現役の活動報告をさせていただきます。と思います。

まず、現在の本会のシステムについてご説明いたします。現在本会では、Speech・Debate・Drama・Oral Communicationの4活動を主に行っており、一・二年会は、秋葉原・城北・高円寺・目白・渋谷新宿の5つのHome Meetingに分かれ、二年会が一年会に各活動のノウハウを教え込みながらこの4活動を1年を通して行っており、Oral Communication活動におきましては、より実践的な英語力の獲得を目指し、主に三年会が企画するゲームでの英語を使った交流や、浅草・明治神宮・皇居の3カ所に赴き、観光に来ている英語圏の外国人に無料でガイドを行う「外国人ガイド」などといった活動を行

っております。まだ歴史が浅く活動形態も確立されてはいない活動ですが、6月初旬に行われた「外国人ガイド」では、一生懸命に英語で交流を図ろうとする会員の姿を見る事が出来ました。

★各セクションの活躍

また、三年会Speech Section・Debate Section・Drama SectionのいずれかのSectionに属し、所属したSectionの活動を一年間特化して行います。今年度は、各Sectionがなかなかの活躍を見せております。Speech Sectionの林大樹がJUELにて5位入賞を果たし、第37回新島杯争奪全日本学生英語弁論大会にて見事優勝を飾りました。また、Debate Sectionは、AYAMEにて優勝、JNDTにて3位、TIDLにて8位を取めました。またDebate Section Chiefの青田崇はAYAMEにてBest Debater Prizeの獲得、JNDTにて個人2位という輝かしい成績を残しております。そして、Drama Sectionは現在四大学英語劇大会連覇を狙うべく、日々練習に精を出しております。今年度はKen Ludwig「LEND ME A TENOR」という作品に挑戦いたします。去年に引き続きドタバタコメディであるこの作品は、見れば大爆笑間違いなしかつ、見る者の心をほんのりと温かくしてくれる。そのような早稲田らしさをとても生かせる

Scriptです。本公演は11月13日、14日に埼玉県志木市民会館にて行われます。是非とも足をお運びいただき、現役の元氣溢れる勇姿をご覧ください。

また、12月18日にはSpeech Sectionが中心になつてW.F.S.S.全体で運営する、大隈杯を開催いたします。昨年度は上記いたしました通り、本会の代表者が優勝いたしました。今年度も連覇を目指し、Speech Sectionの林大樹が本会代表として出場致します。是非ともお越しいただき、そのEnergyに満ちた大隈杯をご覧ください。から幸いです。

★大夏合宿の成功

また、今年度何よりも喜ばしかった出来事が一つございす。それは、長きにわたり本会が行ってきた伝統ある夏合宿「大夏合宿」の成功です。昨年度、約160人が参加し、盛大に執り行われるであった大夏合宿ですが、不運にも新型インフルエンザの集団感染に見舞われ、全員途中帰宅という悲劇に見舞われてしまいました。そのような事情ゆえ、今年度の三年会は去年涙を呑んだ先輩のためにも、いまだ大夏合宿を経験してない後輩のためにも、必ずやこの合宿を成功させようという強い思いを胸に一致団結し、全身全霊で運営に取り組みしました。その結果、合宿参加者約190名というとても少ない人数となりましたが、一人一人の胸に大夏合宿の思い出を刻み込み、無事

成功を収める事ができました。このように本会には英語力のみなならず、人との絆、他では味わえない感動や経験等、人間として成長できる機会が溢れています。このように、一生懸命勉強し、また一生懸命馬鹿になるという姿勢や活動形態こそが本会の良さであり、近年の本会の進展や栄光の礎にあると思えます。この伝統ある本会の歴史の1ページに、第116代幹事長として関わられた事を心より嬉しく思うとともに、この栄光がいつまでも継承していきたいと思



女性幹事長在生中

小安 総

大先輩の中瀬氏を通して、稲門英語会だよりに掲載をとお連絡を頂き、恐縮しながらも、考えればいつ此の世とおさらばしても当たり前の年令、これが最後とお受けさせて頂きました。

早稲田大学はかなり早くから、学部(旧制)に女子大卒業生を受け入れて来ていました。が、女子学生募集の新聞広告を出したのは一九四六年(昭和二十一年)、高等師範部社会教育科新設に当たって行ったのが最初ではないと思ひます。



★ガールズセクション誕生

同年六月一日に入学。四日に当時の幹事長住野氏の勧誘演説を聞いたその足で部室へ行き、入会しました。授業には出ずとも部室には来る事。部室内は日本語厳禁。戦時中、軍部を怖れて、英文科受験を諦めた身にとり、希望に巡り会えた思いでした。

同級の古谷さん(在学中に他界)と二人でせつせと部室に通いました。勿論、室内は男性で一杯ですが、何しろ数少ない女性が入って行くのですから、大歓迎され、忽ち名前を覚えられました。話しかけられても何を言われているのかチンプンカンプンです。そのうち文学部の田上さん(現姓・萩原)と鈴木さんがめんどろを見て下さる事になり、ガールズ・セクションとして鈴木さんが親切に指導して下さいました。

二年は終戦の翌年、その後何年かは極端な物資不足に加え、すさまじいインフレで物価が半年で倍になるような世情でした。先輩の何人もが身に付けた英語で、占領軍の宿舎や事務所アルバイトをしていました。生きた英語の中に入っていただけ、会話の力が身に付いたでしょうが、更に読み終えた本をもらって来て、自分の読んだ

あとは皆に廻っていました。知人から思いがけず戦前の中学教科書が入手できた私は、夏休み中、毎日声を出して読みました。そのお陰か、九月から英語が口から出せるようになり、行事や合宿にも仲間入りさせて頂けるようになりました。

一九五一年三月二五日、午前は旧制、午後は新制と、一日でござり会員が卒業しました。その後、各大学で女子学生が年々増え続けて、現在、英語会にも多数の女性会員がいると聞きますが、未だに二代目女性幹事長の出現の話を聞いていませんのは何故でしょうか。

★選挙で幹事長に

二年後に伊藤(北村)、枝川、小野の三嬢が入会し、先輩や同学年の間での交流も出来るようになってガールズセクションも解消、共学らしくなり、長谷川氏、高野氏と二代の幹事長の元、スピーチやドラマの他大学との競演も復活、日本学生会議参加等、活動範囲が大きく定着してゆきました。

ちなみに私の同級生の調査によれば、同年卒業の女子学生は旧制二二名、新制三六名であった由、勇気あるパイオニア達です。(昭和26年卒)

学制改革が大学に及んだ一九四九年に、私の一年上までが旧制、高等師範部は教育学部として、私共の学年は新制三年となりました。その時点で学内でも、他大学からも転科、転入学が大幅に認められ、他大学からの転入者が何人も英語会に入会して来ました。他校から入った人が上に立つのは面白くないという先輩方の意向で、先輩幹事会と次代の会員と合わせた異例の選挙が行われ、私が幹事長の役を頂きました。今思うと英語力も運営能力も、もつと上の方がいられたと思ひますが、戦時中の仕事を経て二浪して入学した勘定になる私は、学年で最年長でした上、早くから先輩方の指導をいただいていたので、英語会らしさが身に付いていかと思ひます。

新制学年から出席が厳しくなり、活動に工夫をして、ドラマも上々、スピーチで小野さんが優勝し、幹事の方々の様々な協力のお陰で約束の半年の期間を終わって、次の三好氏に引継ぎ出来た時は、正直ほっとしまし



異色のイラン風俗誌

北川 武

イランは、人口七千三百万人、日本の四倍の国土、石油と天然ガスの産出国で資源大国です。四季があつて、冬は大雪も降り、首都テヘランにある4千メートル級のザクロ山脈は、冬は雪化粧で美しい景観が見られます。夏は山脈の頂に積もった万年雪が解けて、一年中テヘランに流れています。水があるのでテヘラン市内は緑も多く、又ザクロ山脈を越えるとカスピ海があり、その沿岸はイランの穀倉地帯が広がっており、他の中東の砂漠のイメージとは異なる

ります。言語はイランだけがペルシア語で、他の中東諸国ではアラビア語、お互いに会話が出来る無いほどの違いがあります。宗教はイスラム教ですが、宗派は少数派のシーア派で、多数派のスニ派ではありません。こうしたイランに、30年出入りしていますので、風俗習慣的側面から、見たり聞いたりした面白い話題をご紹介します。と思います。

*イランの男子用のトイレは、個室しかありません。これと関係あるのか、イラン人は立小便の習慣が無いらしく、止むを得ず外でやる場合には、女性のようにならざるを得ません。我々が長距離ドライブの時など立小便をしようとする、同行のイラン人にしゃがめと注意されま

ておかないと銀座の高級ステーキハウスにご招待しても、一切食べて頂けない事があります。*イランの会社、家庭を訪問するとフルーツの盛り合わせが出てきます。その中に必ずキュウリが入っています。キュウリは野菜ではなくて果物なのです。*果物は豊富で夏は大きなスイカ、メロン、瓜が食べられます。スイカをペルシア語で「ヘンダワネ」と言います。序に、猫を「ゴロペー」、ゴキブリを「スースケ」、又日本語の「ちゃらんぽらん」と同じ意味で「チャランパラン」と言います。

*イランはザクロが有名です。ある時、私をホテルに迎えに来ようとした駐在員が、車の中でザクロをモミモミしてジュースにして飲むうとしていたら、破裂してしまい、ワイシャツが赤く汚れ、そのままホテルのロビーに入ってしまったので、居合わせられた人たちがびっくりした事がありました。

*主食はライスとパンですが、ライスには必ずお焦げがついてきます。イランの炊飯器はご飯が炊けるとお焦げ用のスイッチが入ってこのお焦げをわざわざ作るのです。

*言論の統制が厳しく、殆どの新聞は発刊禁止になっており、一部の御用新聞だけが発行されています。この新聞を「news-paper without News」と呼んでいます。(昭和40年卒)



同窓会

WESS32会 近況
塩見 健三

前号(第17号)で報告して以来、全員の集まりは開催できず、個別メンバー同士の交流で過ぎた。

我々の殆どが「喜寿年齢」を迎え、所謂「現役からの引退」悠々自適「生活」に入っていて、動静といえば、やはり「病い」死亡」が中心になる。今回は、その動静の内の「死亡」報告を得ていないのは、幸いであるが、「病い」は、持病や老齢病を抱えているものの、更なる悪化の報告はなく、それなりに人生・余生を楽しめる気配である。

しかし正直言って、あれこれあちこちでの会合・集会に足繁く通ったり・出席したりするのは、加齢と共に億劫や辛くなり、周辺・身辺の整理時期に来ていることは否めない。この「稲門英語会」が、そんな会合にならぬことを、祈るや切であるが、次回「WESS32会」が開かれた時、「共有した歴史の中で、世代を超えた交流が出来る」稲門英語会は、次の1/4世紀に向けて人生を楽しむ機会となるのではないか?」などを話題にしたいと思う。(昭和32年卒)

興味と好奇心で
内田 孝

私達36年卒業の仲間が10月17日に学校からホームカミングデーへの最後の招待を受けました。今年も揃って久しぶりにキャンパスを訪れたいと思っております。50年の間に24人のうち4

人が物故しました。岡田、阿部、竹内、峰岸達です。昨年3月に原田が念願の結婚を、今年2月に飯島が有料老人ホームに入居しました。10月25日には恒例の第6回(36、37年卒)ペンギン・タイガーゴルフマッチが行われます。古稀を過ぎると病氣もちがほとんどですが、中沢、原田、平野、福田は仕事をしています。川村は古代日本史研究、山下、内田は油絵教室、伊東は基会所に通っています。

ボケ防止のためには物事に対して興味と好奇心を持って接する事が大事です。

私としては、自治会活動、OB会、NPO活動、海外旅行、スケッチ旅行、1日1万歩歩き(2004年11月から継続中)を通して元気に毎日を過ごしています。(昭和36年卒)

三葉虫に溺れて
三船 忠良

その職業は、日本では私だけです。顕微鏡の下で、石を少しずつ削る。根気の果てに、石の中から化石が現れる。三葉虫、地球上で最も古い動物。その原石はモロッコのサハラ砂漠で、オアシスの原住民が採掘している。採掘現場に私も行きます。道の無い荒地を、4駆車で何時の間も走った先は、アルジェリア国境、周りは生き物の無い赤褐色の山々。まるで火星だ。高く切り立つ垂直の断崖は、6億年の生物の全歴史を刻み込んでいます。化石好きには気絶するほどの宝の山だ。しかし気温50度を超える灼熱地帯は、文明社会の軟弱な人間どもを拒絶する。ハンマーを2、3回振り回したら熱中症だ。やはり採掘は現地のプロに任せるのが無難だ。三葉

虫の永い歴史には膨大な進化の種類がある。顕微鏡の下には、いつも新発見があるわくわくする仕事だ。

同じWESS卒の相方と一緒に販売もしています。

62歳でソニーの技術者から転んだ71歳の今です。閑な人は<http://sanyoclub.com>をご覧ください。結構好評です。(昭和37年卒)

英稲会
「皆自由を楽しんで」
大渡 肇

腸溶性ラクトフェリンが好調です(浅香英男) 今夏も古稀の頑張りで蓼科山、八ヶ岳、天城山に登頂(阿部達)主人の残した仕事を引継ぎ貧乏暇なし(有馬れい子)庭球、舞踏、大道芸で健康維持(泉雄二郎)定年後予想外の忙しさ、気になる事は天気予報とスケジュール合わせ(上田幸弘)古稀コキと骨を鳴らしてナイスショット(大駒勲)ゴルフ、テニス、カンツォーネ、オペラと遊びばかり(大渡肇)故郷は佳き哉自由や好しの余生(奥田斐規)ギターに現つを抜かし70の手習い(梶山亨)テニス、ジムに励みます(加瀬隆康)会長と言われながらの勤労奉仕(坂井馨)つくば科学館で子供科学インストラクター(崎村雅彦)昨年で完全にリタイア(佐藤泰男)孫を相手に日々元気(塩見法弘)あの腰痛も秋の気配に退散せりや(島村政二郎)家族、友人と豊かな時空を生きる(高木聡行)もう古稀。健康第一、趣味を楽しむ日々(田口隆志)各地でJICAで行ったメキシコの話。既に150回以上(田辺光宏)70歳になり複雑な心境(津田桂子)昨年3月で早稲田を退職(東後勝明)今

国際研修会 活動報告

平松 昌雄(昭和53年卒) 鈴木 順子(昭和54年卒)

本年2月に第45回としてテレビ朝日会長の君和田正夫様から「テレビメディアは絶滅危惧種か?」というタイトルでネット登場による激変するメディア事情を聞く機会がありました。非常に多数の参加をいただきました。7月には第46回として日本オラクル勤務の金井晴夫様から「IT活用による経営課題・業務課題の解決」というテーマで最前線のIT事情を聞く機会を得ました。11月か12月にもう1回、計画しております。

昨年の7月から関根先輩より引継ぎました。担当者になって初めて講師になっていただくお願いがこんなに大変だとは夢にも思いませんでした。年3回ですがあつという間に次回の講師を選定せねばならず改めて関根さんのご苦勞が感じられます。卒業生の皆様、参加者と講師、よろしくお祈りいたします!特に若い世代の方々の参加をお待ちしております!

来年の11月か12月に行う回で節目の50回を迎えます。何かアイデアがありましたらどしどし事務局までお願いします。

♪草津良(こと)い
安斉 洋一

和龍会(昭和39年卒の会)のメンバーは、今年古稀を迎える者が多い。そこで草津温泉へ一泊旅行をした。女性は奥田、小林、安斉の3名、男性が小倉、小原、小林宏、佐藤、大道、増田、本橋、森田、萩原、村上、のところがハッピーな毎日(畑廣子)元気で楽しく過ごして(浜本尚子)古稀を迎えるもテニス、読書、散歩などに継続傾注(広江尚司)蝶の調査でパプア通いを継続中(古谷俊爾)あるゴルフの本に「世の中は理屈通りにならない」答えは理屈が間違っているか、理屈通りにやっていないからです。納得です(増田富司夫)知るを楽しむ(森美紀子)(昭和38年卒)

安斉の11名が参加した。今回の旅行では、ぐんま観光特使の萩原君に大変お世話になった。初日は、「浅間酒造」の別邸で昼食をとり、夕方、湯畑や片岡鶴太郎美術館を見学した。その後、萩原君の親戚筋の方が経営している豪華な「ホテル櫻井」で憩いの時を過ごす。まず、ゆっくりと湯につかり、宴会の席へ。

始めに同期で物故者となった小宮山、手島、中島、垣見の諸君に黙とうを捧げ、ホテル提供のワインで古稀を祝って乾杯!宴会では森田、村上の詩吟、大道の熱唱始め次々と皆マイクの前へ。「紺碧の空」「ひかる青雲」に皆で歌う。

翌日の観光は、白根山山頂からエメラルドグリーン火口湖を眺め草津熱帯園を見学。よくしゃべり、食べ、笑った青春だった。(昭和39年卒)

稲門英語会2009年度会計報告

(自2009.10.01 至2010.09.30)

【単位：円】

Table with 4 columns: 収入の部, 金額, 支出の部, 金額. Rows include 前年度繰越金, 今年度収入合計, 年会費, 預金利息, ゴルフ会通信費として, 幹事会剰余金, and 合計.

(*上記のほかには年会費の前受金が15,000円あります)

上記のとおりご報告申し上げます。

会計幹事 小倉 雅博(昭和50年卒) 平松 昌雄(昭和53年卒)

案山子会のネット活用

内田 徹

長らく途絶えていた同期の「案山子会」は、3年前から年1回総会を開いています。連絡は原則としてインターネットのメール。早く伝わることもさることながら、殆ど経費がかからないからです。名簿の更新もメールで送れます。私が名簿を管理していますが、メールアドレスの更新に、もっとも気を使っています。

インターネットは連絡不能になっている人の情報を得ることも役立ちます。案山子会名簿には4人の方が名前だけになっていましたが、9月上旬、その内のひとりとの連絡が取れました。これまでも何度も試みた検索に再度挑戦。ついに、ある地方都市の報告書に彼の名前を見つけたのです。

ホームカミングデー

山内 正樹

市の指定工事業者一覧表の中に名前と連絡先。同姓同名かも知れないと思いつつ、記載された番号で会社に電話すると的中でした。数十年ぶりに懐かしい声が聞こえてきました。その人は河輪房修さん(城北HM)。空白だった稲門英語会名簿の彼の欄にも、最新の連絡先が復活します。(昭和40年卒)

45年目のホームカミングデーが来る。学館闘争のあおりで卒業式のなかった我ら41年生。前回のホームカミングデーは「代わりの卒業式」に当てられた。そのころまだ現役の記者だったので、朝・毎・読・共同の知りに合いに連絡したら、各社取材に来た。翌朝刊にデカイ写真入りで載った記事。各社全部の写真

無名塾と私

浅井 忠夫

昨年9月と本年7月2度続けて「無名塾」との共演で能登演劇堂の舞台に立ちました。石川県七尾市は町村合併で人口6万人の町になりましたが、15年前その町の1つ人口6千人のちっぽけな中島町に客席650席の演劇専用の劇場が出来上がりました。舞台の後方大扉が全面開閉する劇場は世界でも稀なようです。「無名塾」が20数年前からこの町に合宿を続けてきた縁で仲代達矢の監修の下で劇場は完成しました。

昨秋の「マクベス」50回の公演は借景のスコットランドの森が動き、原野を馬が疾走する演劇堂の特徴を生かした演出でした。小生、エキストラの兵士役で18回の舞台に立ちました。今夏は、七尾市が輩出した桃山の画聖長谷川等伯が国宝「松林図屏風」を描くまでの苦悩を赤羽秀之が演じました。市民オーディションに合格しキャスト襖職人役で5回の公演に立ちました。舞台の側から照明の逆光で光る

40年の節目

次なる節目は 永野 泰三

9月4日「ナレの会」をこよなく愛する12人は品川に集う。会食に先立ち何十年かぶりにボリリングに興じた。2ゲームの結果は、藤野君が336点で一位。後日のメールに、「足と腕の筋肉痛は極致に至る」とある。興奮冷めやらぬ中、会食。料理は全て胃袋の中に。お酒も皆強い。でも、「飲み放題」はもういいか。今後の部活は「マイジャン」「ボリリング」「ポーカー」「ゴルフ」を中心に展開。「マイジャン」はすでに女性間では例えゲームになつてきているように、アンチ・エイジングの効果大とのこと。

3次会は場所を移し高輪の美人ママ、ホステス揃いの会員制クラブへ。ジャズとお酒は人をメロイにし、至福の時は深夜まで続く。今年「ナレの会」会員にとつて卒業後、40年の節目の年。さて、次なる時はどのような節目をみる事ができるだろうか。興味深く楽しみである。

三つ児の魂

黒岩 信和

米国はボストンに単身赴任している黒岩です。思えば入学式の日、大隈講堂前である先輩に強引に勧誘され、何となくWESSに入つたのが全ての始まりでした。「英語はツール。コンテンツとロジックが命!」これは当時のWESSのモットーで、自衛隊増強や安保理常任理事の拒否権の是非等のテーマで喧々譁々。先輩にしごかれる毎日でした。3年次に国際部の交換留学で渡米したため、メイソンの活動歴は無し。城北HMの活動がWESS経験の全てですが英語、コンテンツ、怖い先輩と格闘したこの時代に、私の国際人としてのベースが形成され

北米から アジアに赴任して

廣田 崇行

昨春秋に米国からシンガポールに赴任先が変わり、2度目の当地での生活を妻と二人でスタートしました。北米(NY, NJ)10年間の出向を含め4回目の海外赴任で、二人だけの海外の生活は初めてです。アジア統括会社を任せられた為、北は中国・

尚、今回参加者は真崎夫妻、神戸、鈴木、里見、大石、戸島、室谷、藤野、柴原、宮田、永野(文責) (昭和45年卒)

た様に感じます。現在の会社に入社後、当時の西ドイツ・ハンブルグ駐在を皮切りに、NY駐在2度、果てはマイアミをベースに中南米を担当し、JAICA Aの人と一緒にグアテマラの山奥の病院を訪問する等、都合18年間の海外生活を送り今日に至ります。でも、「英語はツール。コンテンツとロジックが命!」若い時叩き込まれたWESS精神は、今でも健在。「三つ児の魂」。。。。。悔れない物です。(昭和50年卒と同期)



同期の相澤さん(右)来訪 左は筆者

ゴルフ会通信

吉川 通子(昭和48年卒)



昨年秋の30回大会では、いつもの英語会ハンディに加え、ダブルペリア方式での成績という2つの競技方法で、また組合せチームでの対抗戦も行いました。

優勝賞品に、シチズン勤務の戸倉敏夫氏(s48)から高級腕時計をご提供頂き、また会員の皆様からも沢山の賞品をご寄附頂き、賑やかに記念大会らしい会とすることができました。ご協力頂きました皆様にこの場を借りまして御礼申し上げます。さてここ数年、昭和51年卒業以降の方のご参加がほとんどありません。ゴルフ会は日曜日に開催しておりますので、お誘い合わせのうえ、是非ご参加下さい。お待ちしております。

【第30回記念大会成績】

- ◎英語会 HP の部
優勝・原田永久(s36) 準優勝・田中久雄(s40)
3位・渡井 弘(s40)
◎Wペリアの部
優勝・高梨勝也(s40) 準優勝・井口敦雄(s48)
3位・森田宏次(s39) ベストグロス：【78】井口敦雄(s48)
【第31回成績】
優勝・一花 稔(s39) 準優勝・大野 功(s34)
3位・松橋 功(s31) ベストグロス：【82】一花 稔(s39)

2010年度 稲門英語会 年会費納入者のお名前

(2009年10月1日から2010年9月30日まで)

卒年	現金、郵便振替、銀行振込 および 銀行口座振替による納入者									
昭和16	高橋文彦									
18	増田 亮									
23	伊東克己									
24	中瀬正一									
25	沢部昌次郎	永井義昭								
26	岩崎 裕	北詰宗一郎	小安 總	嶋澤重夫	中村研二					
27	石樽和夫	三好正也								
28	犬丸 昭	松下和夫								
29	稲川知義	大澤 博	大矢徹郎	鈴木 裕						
30	入江節子	大和田龍夫	小林秀之							
31	小野田淳子	鹿毛穰治	川端良治	斉藤久三代	鈴木桂子	須藤宗一郎	鶴田公江	早川 守		
	松橋 功	谷田成雄								
32	加藤素夫	金光平輝	塩見健三	菅原 清	田原経三	平野 久	望月泰道			
33	桜田正治	杉原隆夫	高敏春美	高橋久夫	中田カヨ子	広沢 賢	本井孝至	百瀬伸夫		
	渡邊五郎									
34	新居 誠	有泉一雪	大野 功	大野隆右	垣本由紀子	梶原信亮	金井婦美子	神山幸一		
	田中マユミ	土肥英義	長房正儀	中村一栄	宮村聖一郎					
35	石田裕實	石田光雄	金井利雄	川岸高真	小今井寛	小海 正	佐藤明男	津田節哉		
	富田光彦	平林良直	二俣和雄	山口 悟						
36	居城俊夫	伊東照雄	内田 孝	尾谷吉朗	川村泰道	杉山誠昭	遠間昌平	原田永久		
	平野 亨	福田浩人	矢部隆一	山下寛二						
37	一丸知子	遠藤亮吉	岡崎秀生	岡田和秀	児玉士誠	佐香武彦	佐藤 勤	志賀 隆		
	新保宗男	中村節子	西原 恢	花島恭造	林 喬	古屋輝彦	三留 勤	三船忠良		
	渡辺芳子									
38	浅香英男	阿部 達	有馬れい子	居城郁子	泉雄次郎	大倉 肇	大駒 勲	大渡 肇		
	奥田斐規	梶山 亨	加瀬隆康	河原篤子	小作昭子	小林洋子	栗林 寧	坂井 馨		
	崎村雅彦	田崎 徹	津田桂子	東後勝明	畑 廣子	浜本尚子	広江尚司	布施絢子		
	古谷俊爾	松村央子	三船昌子	森美紀子	吉川啓次郎					
39	安斉渥子	安斉洋一	五十嵐起世子	一花 稔	遠藤 斌	奥田美代子	小倉克久	小原雄介		
	川崎規子	木下尚子	君和田正夫	小柴慧次郎	小林公子	小林志郎	小林 宏	佐藤淳子		
	佐藤龍彦	関 直彦	大道諒輔	高橋嗣雄	寺澤 捷	長友亮治	西口 勇	萬口栄子		
	萩原夏海	増田富士男	村上雅敏	本橋輝明	森田宏次	谷野義昭	吉田 忠	萩原 肇		
40	浅香夏子	有村克彦	安部駿一	内田 徹	北川 武	小林賢二	北村泰作	坂田幸夫		
	清水順子	瀬戸口祥二	高梨勝也	田中久雄	花井正徳	深谷易彦	古家美智子	房園武男		
	吉橋和夫	米田 敦	諸井清次							
41	青木 亮	青木正義	粟田秀史	飯村 浩	小倉義信	上島秀美	小泉陽子	古藤黎子		
	坂本宏之	四條 勉	鈴木宣孝	鈴木陸保	爪川 章	中村勝年	橋本族興	福澤節三		
	本多一枝	山内晴子	山内正樹	山田信子	米田幹子					
42	浅井忠夫	池内早苗	稲垣恒夫	浮貝泰夫	大垣嘉彦	刈田光夫	斉藤 保	志岐 宏		
	白松忠道	関根次郎	五月女 勝	高山陸子	田中英雄	内記誠治	前田輝弘	丸山 浩		
	村越秋男	森 篤夫	森下彰久	和田吉弘	渡会弘恭					
43	厚地義尚	石野多加子	川越昌平	菊池紀男	岸 栄洋	上月 孝	新谷綾子	高須武男		
44	秋山京子	阿久津一恵	浅井好弘	井上 武	井出好亮	大野 弘	大森幸子	片山郁夫		
	河井隆雄	高橋憲子	坂庸 子	堀江 明	三寺昭雄	宮崎義治	宮永和歌子	吉田秀夫		
45	稲村重信	大塚良彦	岡田良三	香山正幹	紅松 喬	斉藤恵子	佐々木茂	塩沢三男		
	柴原孝光	永野泰三	藤野 隆	真崎晃郎	柳川正光					
46	天沼真佐子	石川幸男	植木 彰	大橋恭一	岡田俊雄	小林洋一	鈴木 仁	鈴木芳明		
	高橋涉一	宮本直人								
47	鏡 俊一	鏡 文子	国分 豊	酒井莊多	齋藤隆宗	佐々木園子	宿谷直樹	白根忠広		
	中西真佐裕	脇若英治								
48	井口敦雄	尾沢 茂	鐘築 優	戸倉敏夫	川俣喜昭	松岡光一	毛利憲勝	吉川通子		
49	大羽陽一郎	平野勝正								
50	伊東克彦	伊東 由紀子	小倉雅博	小松 寿	角田千鶴子	時友哲也	三浦 豊			
51	梅田和彦	栗原成美	坂井義昭	杉山 清	中原史裕	山田御酒	吉岡克則	渡辺修哉		
52	春名和隆	福田正彦	依田 博							
53	菊池桂子	里村 治	島田哲夫	下島雅幸	平松昌雄	半田信夫				
54	池田正彦	井潤 誠	板谷 稔	大塚正之	柏澤由紀一	志道秀晃	田中順子	田中優行		
	種村隆久	布施直人	吉永昌生							
55	有田玲子	小塩恭市								
56	石山 修	大塚博康	鴨田成司							
57	熊本秀子	嶋田太郎	戸倉幹夫	中本尚志	萩原卓郎	山田耕平				
59	山野千鶴子									
61	鯨井 勝	三島拓哉								
62	岡 晃一	岡 紀子	沢登信良	中島秀幸	星野隆弘	三藤智之				
63	小林浩樹	清水将浩								
平成	古谷明彦									
3	丸山 晃	渡辺和彦								
4	大木 崇									
5	井上敦子									
6	葛岡友紀子	服部美杉								
7	山田英明									
8	北原智子	澤 朋宏								
10	賀来功生									
13	大里耕太郎	富士原透吾								
17	廣野一誠									
18	野田賢太郎									
19	田 測 純									
21	江澤孝太郎									
22	飯塚洋平	伊崎達朗	池田 朋代	今井美樹	鈴木宏昌	関 佳織	千歳梨世	藤永諒輔		
	渡会友哉									

(計374名)

のネットワークをどんどん広げていきたく考えています。(昭和54年卒)

日本仕込み英語奮闘記
柴田 信司

小生、海外契約の社内調整や、対外交渉を担当している。以下、日々の悪戦苦闘の一端を紹介したい。

■X月X日 客先の契約案を社内で検討。欧州の現地従業員も

居るので日本人同士でも英語。周囲の仕事仲間は、日本人間の英会話が何だかバツが悪いらしく威勢よさも普段の半分。小生は平気。会議後、「柴田さん度胸がありますね」と、賞賛とも皮肉ともとれるコメント。これも大学時代の訓練(?)の賜物か。

■X月X日 欧州顧客と交渉。彼らは、1分の理でもあれば大々的に主張し、脅し・ハッタリはあたりまえ。深呼吸し、ESS時代のデイベートを思い起

こす。相手の論理にスキは無いのか? 当時の常套句「so what」と言ったら相手は黙った。心の中でガツポーズ。まあ、こんなことは滅多にないが。

■X月X日 米国子会社との電話会議。海外販売部門の帰国子女も同席。会議後、彼女曰く「柴田さんの英語って、ユニークですな」。へん、どうせ私は貧乏学生で留学なんて夢のまた夢でしたヨ!

(昭和57年卒)

事務局よりのお知らせ

《会費納入のお願い》

「稲門英語会」は皆様の会費によってすべてが運営されています。早大英語会補助、会員通信費など、会の継続のための大切な資金です。

2011年度会費の納入をお願いいたします。年会費は2011年度から、今年の総会でのご承認を頂いた上で五千円となります。口座名義は「稲門英語会」、お手数ですが必ず卒業年次をお書きください。

- ◆郵便振替／郵便振替口座：No. 00100-4-9538 (同封の郵便振替用紙をご利用ください)
- ◆銀行振込／
 - ・三菱東京UFJ銀行 虎ノ門中央支店(店番332) 普通預金口座：No. 152412
 - ・みずほ銀行 虎ノ門支店(店番046) 普通預金口座：No. 2283024

◇口座自動引落をご利用の方で、金融機関名・支店名・口座番号が変更になった場合は事務局までご連絡下さい。変更届をお送りします。また、今年から自動引落のシステムが変更となりました。改めて登録をご希望の方も事務局まで案内書をご請求ください。

《総会・忘年会のご案内》

今年度の総会・忘年会は12月2日(木)18時から開催します。皆様お誘い合わせのうえ、是非ご出席ください。

場所：レストラン「アラスカ」
Tel.03-3503-2722
〒100-0011 千代田区内幸町2-2-1
日本プレスセンタービル